

オリンピックと運動会

副校長 細井宏一

リオデジャネイロオリンピックが閉幕しました。日本選手の活躍に日本中が沸きました。皆さんの心に残っている種目は何でしょうか。体操男子団体大逆転の金メダル、内村選手の個人総合金メダル。水泳の大活躍、卓球男・女のメダル、女子バトミントンダブルスの金メダル、カヌーの初メダル、テニスの錦織選手銅メダル、柔道男子の全階級メダル、女子レスリングの伊調選手4連覇、シンクロナイズドスイミングなどなど、嬉しいことにいくつも思い出されます。メダルには届きませんでした。日本選手の活躍にワクワクする種目もありました。7人制ラグビー、女子ゴルフ、個人的には女子バスケットボールの大活躍もあげたいところです。

これらの中で私が特に心に残るのは、陸上男子4×100mのリレーです。ご存じのように日本チームは9秒台の選手がいなくて4名の選手でしたが、見事なバトンパスで、9秒台をそろえた外国のチームより速く、見事に銀メダルを獲得しました。これは、日本の技術やチームワーク、精神性の素晴らしさを世界にアピールする絶好の機会となったように感じました。また、閉会式での2020東京大会のプレゼンテーション「See you in TOKYO」も、賛否両論の部分もあったかもしれませんが、見応えがあり、よいアピールになったと思います。

パラリンピックも、嬉しいニュースが連日ありました。車いすテニス、ラグビー、水泳、ブラインドサッカー…。ポッチャという競技も初めて知りました。昨日閉幕。リオでの両大会が全て終了し、「次は東京でオリンピック開催だ」と、自分は出場をめざす選手ではありませんが、心が弾む気持ちになります。

10月1日は本校の「運動会」です。子どもたちの、協力して一生懸命に取り組む姿を期待しています。そこで本校運動会の開会式・閉会式の特長をいくつか紹介します。

まず開会式です。入場行進は色別の学年毎に行います。3色×6学年の18グループでプラカードを先頭に入場します。このやり方は時間がかかるので学校によっては避けられることもありますが、本校ではこれも演技の一つ、これから始まる運動会に向けて堂々と行進する姿を、是非保護者の皆様に見ていただきたいし、児童にとってもよい緊張感があり、教育的にも大切なことと考えて行っています。また、開会式の中で児童代表の挨拶があります。毎年1年生が舞台上で話をするかわいらしいものですが、この時に3色の旗が前に集合しているのをご存じでしょうか。これは、国民体育大会（国体）などの大きなスポーツ大会開会式でよく行われるやり方を踏襲しています。国体では選手宣誓の際に、都道府県の旗が宣誓をする代表選手の所に集まります。実はこの儀式、オリンピックでも行われています。調べたところ、「オリンピック憲章 規則69 附属細則1－開会式1.12」に「すべての選手団の旗手が、演壇のまわりに集まって半円形をつくる。開催国の競技者ひとりが演壇に上がる。彼は、左手でオリンピック旗の端をもち、右手を挙げて、つぎのように厳粛に宣誓する・・・(略)」とありました。オリンピック憲章にも書かれていることを知り、私もたいへん驚きました。

閉会式の特徴も入場の仕方です。児童が横に並び全員で手を繋いでトラック内に入ってきます。そこには、「色毎に分かれて競い合ってきたけれど、最後はノーサイド。皆互いに健闘をたたえ合おう」という意味があります。オリンピックの閉会式で、選手が国毎では無く一緒に入場してることがありますがそれと同じような意味です。前述のオリンピック憲章には『オリンピック精神は友情、連携そしてフェアプレーに基づく相互理解が必須である』とあります。運動会でも、勝敗はありますが、フェアプレーで、互いに尊重しあう姿勢も育てたいと考えます。

4年後は2020年東京オリンピックです。今の1年生は5年生に、2年生が6年生に、そして6年生は高校生になっています。遠いような近いような話です。4年後の子どもたちの姿を想像しながらご覧頂くことも、楽しみ方もかもしれません。運動会では、オリンピックイヤーにちなみ、ちょっとした工夫も計画しています。お楽しみに！

結びになりますが、運動会では、PTA常置委員の皆様には受付や児童椅子の足ふき、おやじの会の方々には見回りなど、多くの方に運営のご協力をいただきますことに、感謝申し上げます。